

2017年度 日本文化人類学会  
第7回理事会 議事録

日時：2018年3月16日（金）14:00～17:30

会場：東京外国語大学本郷サテライト 8階会議室

<出席者>松田、綾部、伊藤、小田、川田、佐々木、高倉、棚橋、中谷、真島、三尾、速水

<委任状提出>宇田川、岡田、栗本、桑山、慶田、湖中、白川、田中、名和、森山、箭内

〔承認事項〕

1. 2017年度第6回理事会議事録
2. 新入会員（1名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
3. 「東日本大震災の被災会員に対する2017年度会費徴収特例措置」の申請1件につき、総務会で特例措置の適用を承認したことを報告の上で事後承認。

〔報告事項〕

1. 庶務理事報告
  - ・第28回評議員選挙結果について、資料に基づき報告。2018年4月1日（日）に第1回評議員会を開催し、理事選出ならびに会長選挙を実施する予定であることを報告。
  - ・第15回（平成30年度）日本学術振興会賞の学会推薦について、評議員へ推挙依頼を行ったが締め切り（2018年3月6日）までに推薦がなかったため、今年度は学会推薦をしないこととした。
  - ・第26回（2018）コスモス賞の候補者推薦依頼が学会宛に届いたこと、理事宛に推薦依頼を行ったが現在まで推薦が無いことを報告。推薦がある場合には3月23日までに事務局へ連絡するよう依頼。
  - ・第27期から第28期への交代期にあたるため、各種委員会委員長に対し、四月中旬開催予定の新旧合同理事会までに次期への引継ぎ文書を作成し、控えを事務局へメール送信するよう依頼。
2. 広報理事報告
  - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき12件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。このうち2件はメーリングリスト運用規格外のため総務会で検討の上配信を行ったことを報告、事後承認された。
  - ・J-STAGEへの学会誌掲載について、順次公開準備を進めていることを報告。また、Nii-ELSに掲載されていた過去の学会誌掲載論文データのJ-STAGE移行について、『文化人類学』と『民族学研究彙報』は公開済みであること、『民族学研究』については順次公開予定であることを報告。
  - ・Nii-ELSからの移行ファイルに含まれていた文字化けや変換ミスは『文化人類学』と『民族学研究彙報』については概ね修正を行ったが、『民族学研究』については時間等の制約から著者・タイトル部分の最低限のチェックとなったため次期以降の編集委員会担当者において対応を検討する必要があることを報告。
  - ・Nii-ELSからの移行ファイルに含まれていた過去の学会誌に掲載されていた個人情報については、総務会での検討と承認の上、速やかにページ削除または墨塗りによる情報削除の作業を進めていることを報告、事後承認された。
3. 各種委員会報告
  - ・『文化人類学』編集委員会：82巻4号の進捗状況を報告。
  - ・JRCA編集委員会：Vol. 18-2の進捗状況を報告。
  - ・「国際情報発信強化」特別委員会：松田会長より、3月末に韓国文化人類学会会長と打合せ予定であることを報告。
  - ・国際化グローバル化対応委員会：WCAAのオンラインジャーナル“Deja lu”の最新号が刊行されたこと、本学会からは2017年度の学会奨励賞受賞論文が掲載されていることを報告。
  - ・研究大会実施委員会：松田会長より、韓国文化人類学会と打合せを行い、国内研究大会と韓国側の研究大会におけるプランをまとめていることを報告、本年6月第2週に開催の韓国文化人類学会研究大会で小川さやか会員と木村周平会員が報告を行う予定であることを報告。
  - ・地区研究懇談会：各地区の研究會開催状況、開催予定を報告。
  - ・倫理委員会：倫理委員会宛に会員から問い合わせがあり、倫理委員会規則に基づき、倫理委員長、会長、複数の総務会理事、関係理事を含めた協議会を開催して検討を行い、倫理委員会で承認を得た上で、その結果を本人に通知することとしたことを報告。
  - ・医療者向け人類学教育連携委員会：前回理事会で承認を受けた、医学生向けの教育に関心のある文化人類学者や協力者等の情報収集のためにJASCA-INFOで配信した会員向けアンケートへの反応が良いこ

とを報告。

#### 4. その他

- ・中谷理事より、本学会からの担当委員として人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会（GEAHSS）のシンポジウムへ出席予定であることと、先方へ提出する学会プロフィールの内容を報告。今後、連絡会参加学会に対し大規模アンケートの実施依頼を行う計画があることを報告。

#### 【審議事項】

##### 1. 2017年度事業報告・2018年度事業計画（案）について

- ・川田理事より、資料に基づき2017年度事業報告・2018年度事業計画（案）について説明があり、次回理事会までに変更等があれば庶務理事に連絡することとした。
- ・特に、前年度からの変更点として、2018年度よりJ-STAGEの担当を各編集委員会に置き、J-STAGEへのアップロード等の作業を担当することを明記したこと、文部科学省へ例年行っていた要望書提出については従来そのままでは内容が古くなっているため2017年度は提出しないことを確認した。

##### 2. 2017年度決算（案）・2018年度予算（案）について

- ・綾部理事より、資料に基づき2017年度決算（2月末時点暫定版）・2018年度予算（案）について説明があり、審議の結果、承認された。
- ・特に、2017年度決算（案）においては会費改定後初の決算となったが、会員会費収入額が見込み通りとなったことが報告された。また、2018年度予算（案）に関する意見交換では、課題研究懇談会では設置後、他からの助成等を得られているケースもあることから補助金の減額が提案され、次期へ申し送ることとした。
- ・前回理事会で審議された会員から本学会への遺贈については、手続きが進み遺贈が確定した時点で使用方法も含め別途検討を行う必要があることを確認した。

##### 3. 課題研究懇談会の継続申請について

- ・高倉理事より、委員会での検討結果に基づき、課題研究懇談会「医療人類学教育の検討」の2018年度の継続申請について審議が行われ、書類の文言の一部修正を申し添えた上で継続の承認通知を行うことが承認された。

##### 4. 名誉会員の推戴について

- ・2018年度に日本文化人類学会名誉会員内規第二章第二条の条件を満たす名誉会員候補資格者2名を名誉会員候補者として推薦することが承認された。また、同内規第二章第二条第二項により1名の推薦がなされ、承認された。今後、ご本人に推薦受諾の意向確認を行った上で、次期理事会に引き継ぐことを確認した。

##### 5. 奨励賞選考に関する申し合わせについて

- ・欠席の栗本理事に代わり川田理事より、学会奨励賞の選考に関し、奨励賞の性格に鑑みて過去に受賞歴のある会員を候補者からはずすという申し合わせの原案が提案され、審議の結果、承認された。申し合わせは明文化することとした。

##### 6. 英文誌 *JRCA* の体裁および内容の変更に関する提案

- ・速水理事より、*JRCA* の体裁及び内容の仕様変更に関し、前回理事会で合意された判型（155mm×217mm）、用紙は現行の3分の2程度の価格の白目の書籍用紙とすることが確認され、承認された。また、印刷会社が作成した表紙デザイン案についても回覧し意見交換がなされた。

##### 7. 学会の法人移行後の諸手続について

- ・三尾理事より、学会の法人移行後の代議員選挙の時期や任期、法人設立の時期や具体的な諸手続について説明があり、意見交換の結果、代表理事の選出等の手続きにおいて現行の方法を維持できるかどうかを司法書士に相談することとした。

##### 8. その他

- ・綾部理事より、2018年度における年会費払込用紙の記載事項及び滞納の扱いについて、2017年度年会費の滞納については、会費改定の導入直後の年度であることから会員の負担を軽減するため、今年度のみの措置として2018年度の収入区分で滞納した2017年度年会費分を支払えるようにするとの提案があり、JASCA-INFO及び『文化人類学』82巻4号への挟み込みチラシで会員へ周知することとした。なお、この措置は2017年度会費の滞納のみが対象であり、それ以前の過年度会費は旧会費体系の通常会費額とすること、2019年度からは滞納会費は減額無しの通常会費額を徴収することを確認した。
- ・松田会長より、本学会と韓国文化人類学会の双方の研究大会で開催される本学会と韓国文化人類学会による合同ラウンドテーブルへの旅費について、韓国側の登壇者が日本へ来るときには日本側が旅費を負担し、日本側の登壇者が韓国へ行くときには先方が旅費を負担するとの提案があり、承認された。なお、第52回研究大会においては、研究大会会計から支出可能であることが報告された。

以上